

災害に対する 地域防災力を高めるには

森田憲 高橋僚汰 木村有佑 高橋拓己

3-A班

久米由華 高橋さくら 菊地彩香

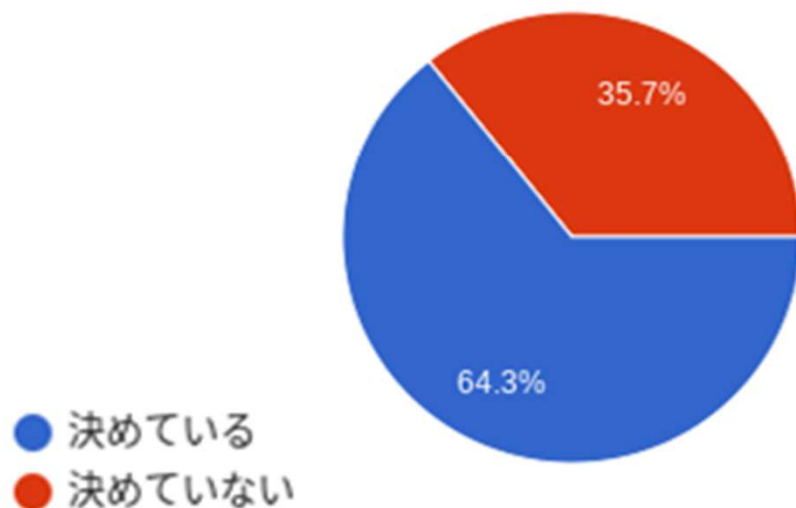
仮説

災害に対する意識調査を実施して、
意識が足りない部分を明確にし、
私達はその部分を市民に呼びかけること
で、意識が向上し、被害の軽減に
つながるのではないか

～アンケートの結果から～

7. 災害が起こったときに、避難する場所を決めていますか

42件の回答



回答してくれた人の3人に2人が
避難場所を決めている。

⇒知識がある

⇒通信障害が起こっても

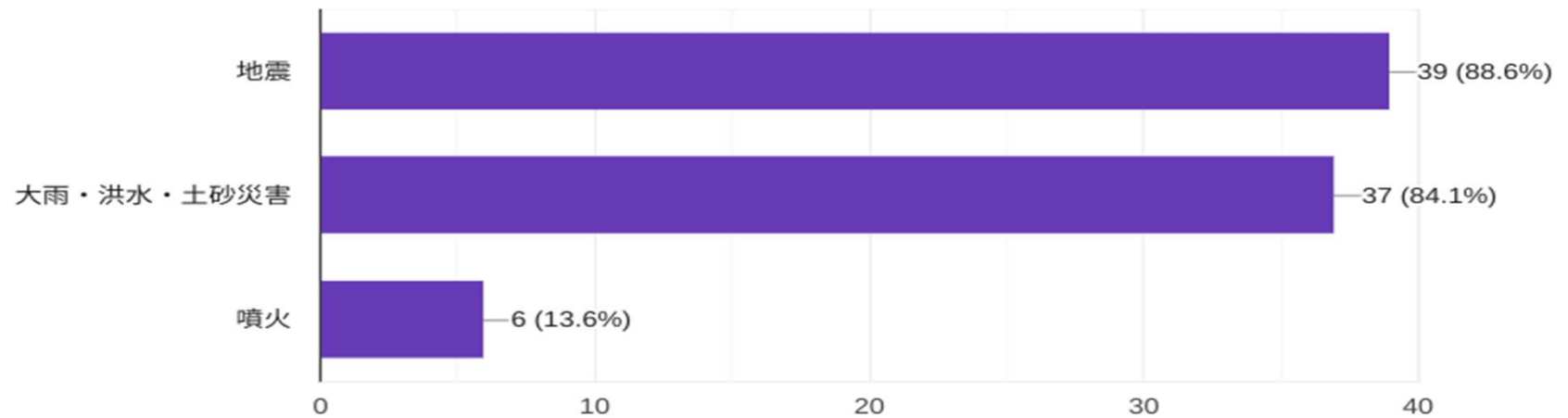
避難所で待ち合わせができる

～アンケートの結果から～

4-1. あなたの地域やその周辺で起こると考えられる災害をチェックしてください(複数回答可)*



44 件の回答

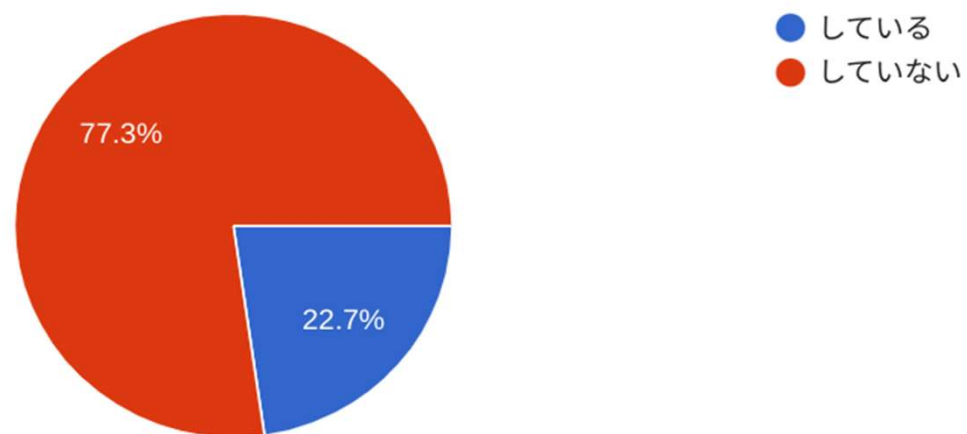


～アンケートの結果から～

6-1. 災害が起こったときや避難情報が出たときに、すぐ避難できるように準備はしていますか



44 件の回答



秋田県の過去の災害データ

発生日	発生原因	被災市町村	被害状況
1894年（明治27年）	前線の停滞	仙北郡、平鹿郡、雄勝郡他	死者・行方不明者334名、浸水家屋18,947戸
1910年（明治43年）	前線の停滞	秋田市他	死者・行方不明者0名、浸水家屋8,017戸
1944年（昭和19年）	前線の停滞	雄物川流域	死者・行方不明者11名、浸水家屋7,279戸
1947年（昭和22年）	前線の停滞	秋田市、大曲市、横手市他	死者・行方不明者11名、浸水家屋25,361戸
1947年（昭和22年）	前線の停滞	雄物川流域	死者・行方不明者7名、浸水家屋11,966戸
1955年（昭和30年）	前線の停滞	秋田市、大曲市、横手市他	死者・行方不明者8名、浸水家屋32,589戸
1965年（昭和40年）	前線の停滞	大曲市、横手市他	死者・行方不明者0名、浸水家屋13,047戸
1966年（昭和41年）	前線の停滞	秋田市、仙北郡他	死者・行方不明者0名、浸水家屋1,436戸
1969年（昭和44年）	前線の停滞	秋田市、大曲市、横手市他	死者・行方不明者0名、浸水家屋2,305戸
1972年（昭和47年）	前線の停滞	秋田市、大曲市、横手市他	死者・行方不明者0名、浸水家屋4,904戸
1979年（昭和54年）	前線の停滞	秋田市、大曲市、湯沢市他	死者・行方不明者0名、浸水家屋1,078戸
1981年（昭和56年）	台風15号	神岡町、西仙北町、羽後町他	死者・行方不明者0名、浸水家屋11戸
1987年（昭和62年）	前線の停滞	大曲市、横手市、湯沢市他	死者・行方不明者0名、浸水家屋1,574戸
2002年（平成14年）	前線の停滞	秋田市、河辺町、西木村他	死者・行方不明者0名、浸水家屋510戸
2007年（平成19年）	前線の停滞	秋田市、大仙市、仙北市	死者・行方不明者0名、浸水家屋273戸
2011年（平成23年）	前線の停滞	秋田市、大仙市、仙北市他	死者・行方不明者0名、浸水家屋445戸

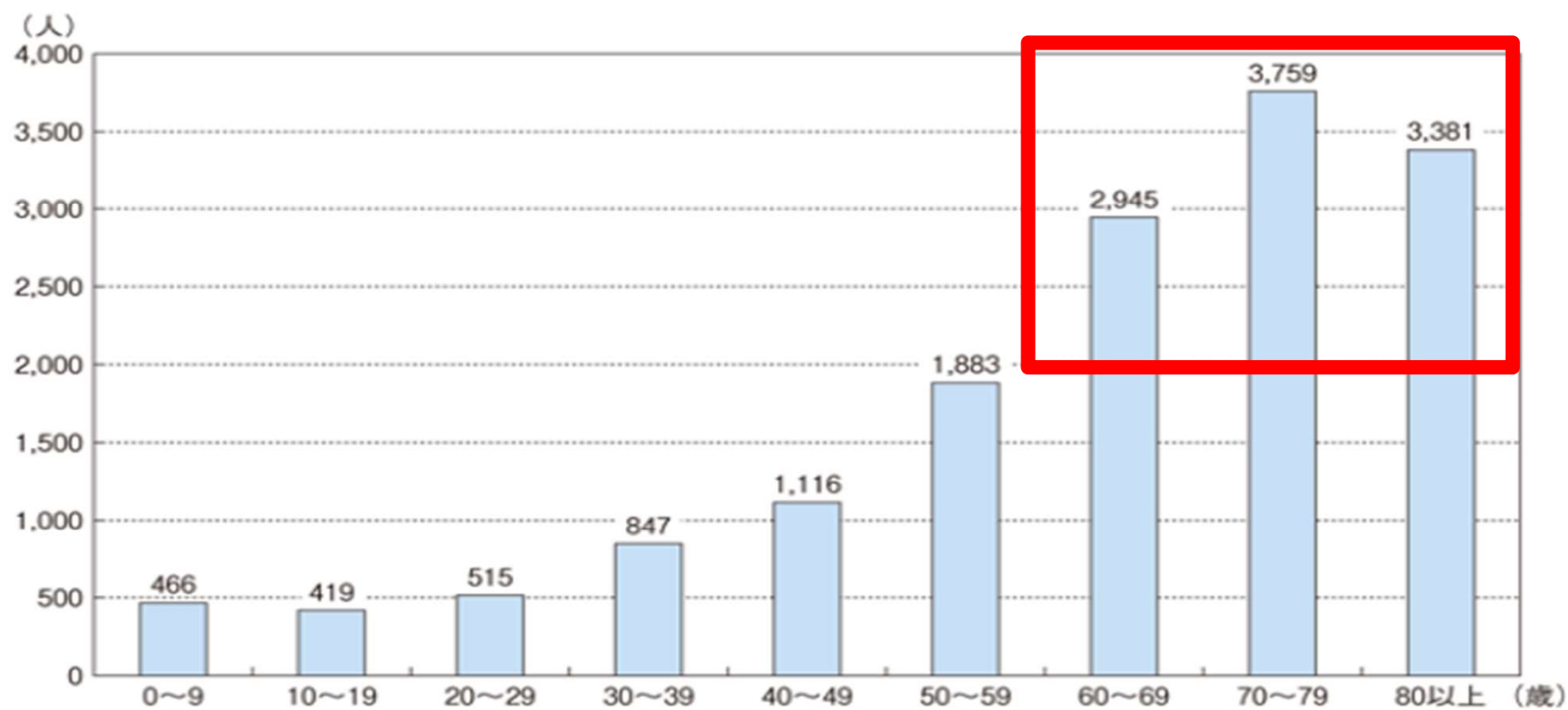
出典：秋田県消防防災調べ、秋田県災害年表、水害統計

湯沢市ではあまり発生していない



東日本大震災
をもとに考察した

第2-5-1図 東日本大震災における年齢階級別死亡者数



資料：警察庁「東北地方太平洋沖地震による死者の死因等について【23.3.11~24.3.11】」より
※検視等を終えて年齢が判明している者を集計

グラフの結果から

- ・ 死亡者は年齢が高くなるほど増加している。
- ・ 0歳~29歳の若い年代では約1400人もの命が失われてるが、比較的少ない

グラフの考察

被害の対策として

- ・ 高齢者を速やかに避難させること
(⇒素早く避難できる、被害者数を減らす)
- ・ 高校生、小中学生に防災の知識をもたせる

小学生向け、中学生向け、高校生向け
のポスターやマニュアルを作った

小学生向け クイズ

じしんのクイズ

第一問

Q、登校や下校の途中で大きな地震が起きたときに何を??

- ① 電柱やブロック塀などからできるだけ離れる
- ② 川や山がどうなってるのか気になって見に行く
- ③ 急いで家に走ってかえる



第二問

Q、大地震が起きたときのために、非常食を何日分用意する?

- ① 3日分
- ② 7日分
- ③ 5日分



第三問

Q、夏に大きな地震がおさまった後に建物の外に出ることになった。どんな「はきもの」でひなんすればいい??

- ① 「はきもの」なんか気にせず「はだし」でもいい
- ② 外は暑いから サンダル
- ③ 暑苦しくても スニーカー



3問のうち 何問わかりましたか?
地震はいつ起こるかわかりません。
自分のことは自分で守れるようにたくさんの知識
もっておきましょう (๑•̀₃•́)๑

中学生向け ポスター

**湯
沢**

そのためには正しい情報を多く得ることが重要です。(テレビ、ラジオ、スマホなど)

「大事ななのは自分の命を守る事」

Q.避難所ではどんな行動が大切？

A.中学生は自分で考え行動することが大切です。避難所の清掃や高齢者の話し相手、幼児や子供のお世話(遊びや勉強)をしてあげることができるかも？

**防
災**

高校生向け マニュアル

高校生向け防災マニュアル

はじめに

災害大国ともいわれる日本に住んでいる私達は災害が身近に感じられると思う。それ故に、災害に対する意識が薄れているのも現状だ。湯沢市も水害や雪害の被害が毎年のように起きている。

そんな高校生は自分の安全を確保できるのはもちろんのこと、自助のみでなく、いち地域住民として共助にも貢献し、地域防災力を向上させる重要な人材であると思う。

目的

- ・基本的な災害に対する知識を身に着け、最低限災害時の自身の安全を確保できるようになる。
- ・災害時自助だけでなく、高校生の力強さを活かし 地域住民の避難にも貢献できるようになる。

想定する災害

地震、水害、雪害、等

提言

災害に対する正しい知識を持ち、
高齢者の避難に貢献できる人材育成
のために学習段階に応じてクイズ、
ポスター、マニュアルを作成して、
教育に取り入れる。

ご清聴ありがとうございました

